

鴻巣市議会議員

無所属


<http://www.namiki-masatoshi.com/>

討議資料

ナミキ  
並木まさとし

議会報告レポート 第7号

41歳

発行者 鴻巣市議会議員 並木正年

〒365-0038 鴻巣市本町3-10-30 048-541-0201 namikimasatoshi72@yahoo.co.jp

元気にホームページ更新中！！ 『並木まさとし』検索

蒸し暑い日が続いていますが、地域の皆さんはいかがお過ごしでしょうか？

鴻巣市議会6月定例会では、国の社会資本整備交付金を活用して(仮称)市民活動サポートセンターをエルミ鴻巣アネックスビルに整備する事業費の追加、スポーツ振興くじtotoの助成金を活用してフラワースタジアムへ天然芝を整備する議案など18の議案について審査がおこなわれました。

### 6月議会の一般質問

6月議会の一般質問では救急医療体制の整備について質問いたしました。鴻巣市では入院を必要とする重症な救急患者を受け入れる体制の整備が課題となっています。救急車が現場に到着してからも受け入れ先の病院が見つからずに搬送の待機状態があるなど、県央保健医療圏を取り巻く医療機関の受け入れ態勢の充実が必要です。

また、小児救急では埼玉県が7月1日より小児救急電話相談#8000番を現在の夜7時から夜11時までの4時間から、大きく時間を延長して夜7時から翌朝7時まで曜日に関係なく365日拡大されたことによる保護者への周知・啓発について質問いたしました。

## 子どもの急な病気・ケガ(発熱・おう吐・けいれん等)

### 小児救急電話相談 #8000番(夜7時~翌朝7時まで)

小児科の経験豊富な看護師が電話相談で対処方法をアドバイス！



#8000番



# 平成24年6月議会 並木まさとしの議会質問

## 保健医療行政 第二次救急医療体制の現状と課題について

**質問** 救急車の出動件数は年々増加傾向にあります。特に休日や夜間では救急車が現場に到着してからも搬送先の病院がなかなか決まらずに待機しているケースが多くあります。

重篤な患者がいくつもの病院をたらい回しにされた末に亡くなってしまった事例もある事から、適切な救急者の利用と二次救急医療体制の整備が必要だと考えます。



**答弁** 鴻巣市が属している中央地区第二次救急医療圏は鴻巣市・上尾市・桶川市・北本市・伊奈町の9病院が輪番制による3病院体制で休日と夜間の第二次救急医療を実施しています。埼玉県消防本部での平成23年度の救急車の出動件数は9,719件(一日平均26回)で、このうち休日・夜間が2,297件でした。

休日・夜間の救急車出動で1回目の問い合わせで受け入れ先の病院が決定したのが201件・複数回以上の問い合わせでの決定が2,069件・10回以上の問い合わせが必要であった事例が115件でした。

## 小児救急電話相談(＃8000)の利用と周知・啓発の取り組みについて

**質問** 近年、軽症であっても救急車を利用して小児科のある救急病院を受診する事例が増えており、医師不足や維持体制が困難になり輪番制から撤退する病院や診療科目の縮小・廃止が増えています。



急病時には保護者の不安を少しでも解消してもらい、適切な処置方法や受診の必要性を理解してもらう事で軽症患者の小児救急病院への集中を緩和させる事が必要であると考えます。

幼稚園・保育園・小学校の入学時に合わせて保護者へ段階的に周知することでさらに安心できる体制になると考えます。

**答弁** 埼玉県小児救急電話相談(＃8000)の平成23年度の相談は32,156件であり、電話相談件数の半数が家庭での対応で済む事例でした。また、全体の約8割が当日の受診を必要としないケースであり、実際に救急車を呼んだ事例は93件でした。

これまでも広報誌・ホームページ・休日当番医表などでお知らせしておりますが、ご指摘のように幼稚園・保育園・小学校の入学時に合わせて保護者へ段階的に周知することも大切であると認識しておりますので、今後もさらなる周知・啓発に努めて参ります。

## その他におこなった質問◎総合病院の誘致について◎小・中学校の交通安全教育◎フラワー号について

お近くの診療可能な医療機関(歯科除く)の名称、所在地、電話番号をお知らせします。

**県民案内電話番号 048-824-4199 (24時間対応可)**

- ① 照会…受診したい診療科目と地域を告げて下さい。 ◎受診希望科目 ◎受診希望地域
- ② ご案内…ご希望の地域に近い医療機関の「名称・所在地・電話番号」をお知らせします。
- ③ 受け入れ確認…受診する場合は必ず事前に電話で連絡し、受け入れの了承を得て下さい。

街を歩くと、今年も多くのご家庭でゴーヤ・キュウリなど「緑のカーテン」を見かけるようになりました。我が家も2年目のチャレンジですが、昨年は失敗してしまいましたので今年こそは大きく育ててみたいものです。